

物流施設開発に参入

初弾は相模原に用地取得

トーセイは、物流施設の開発事業に参入する。

「amless Grow
th 2020」を策定。

横浜線・相模線橋本駅から徒歩22分に位置する敷地5885平方メートルに、延

べ1万1591平方メートルの鉄骨造4階建ての建設を予定している。

だ。管理運営手法などについては、ニーズを勘案し、当面は1都3県での展開を進める方針だ。

初弾として、相模原市緑区の工業専用地域に用地を取得した。中規模の物流施設の開発を想定しており、2020年3月の竣工を予定している。

その中で、成長戦略に「新規ビジネスの展開」を上げた。今回の物流施設の開発は、その新規事業の一つ。

初弾は、首都圏中央連絡自動車道（圏央道）相模原ICから約4.5キロ、京王電鉄相模原線・JR

広域配送の拠点であると同時に、人口70万人超の相模原市内や周辺地域への近距離配送にも適する利便性の高さを見込

同社は昨年、20年11月期を最終年度とする3カ年の中期経営計画「Se

京王電鉄相模原線・JR

の相模原市内や周辺地域への近距離配送にも適する利便性の高さを見込

し、決定する方針だ。

同社は、グループ内に物流施設のPM（賃貸経営管理）とBM（ビル管理運営）機能を有しており、今後は、規模を問わず用地に合わせてニーズに対応できる強みを生かし、当面は1都3県での展開を進める方針だ。

